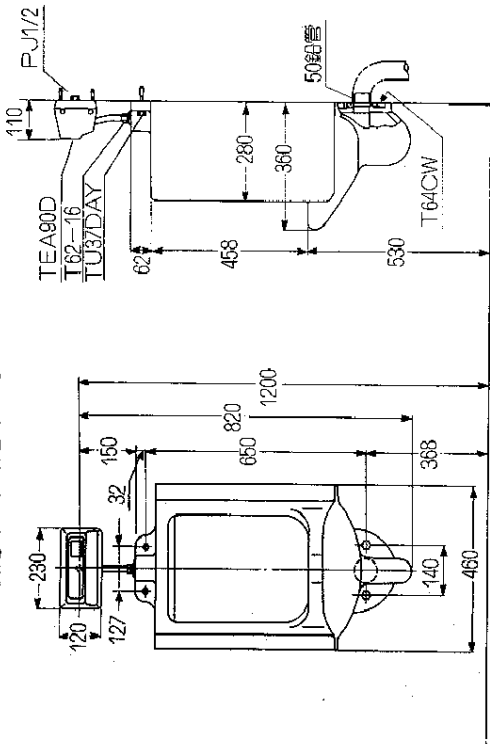


U370システムA型 感知アラッシュユバルブ 取付説明書 TEA90D (乾電池)

■標準取付図(U370+TEA90Dの例)

①注意 陶器の品番により取付寸法が異なります。詳細は工事用図面を参考の上取付けてください。



■仕様

外形寸法	120(縦)×230(横)×110(奥行)
乾電池(リチウム電池)+コンテナカバー	器具前面より60cm以内
動作温度	0~40℃(水温は1~50℃)
給排水	15Aガスねじ
感知距離	5秒間以上(5秒以下では作動しません)
排水圧力	*最低必要水圧0.7kgf/cm ² ・最高水圧7.5kgf/cm ²
排水量	4ℓ/回~6ℓ/回(調節可能)

乾電池は、長寿命のリチウム電池を採用していますので、1日400回程度の使用(前洗浄しない状態)としますと、およそ8年程度は使用できます。

■梱包明細

1. カバー部.....1個
2. 洗浄管(2タイプ).....各1個
3. AYボルト.....4個
4. フラッシュバルブ(電磁弁付).....1個

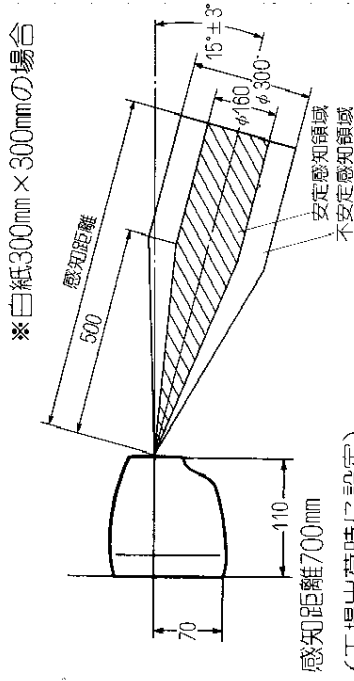
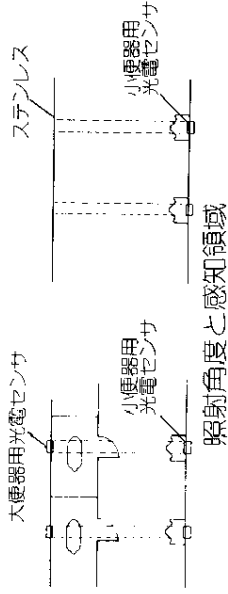
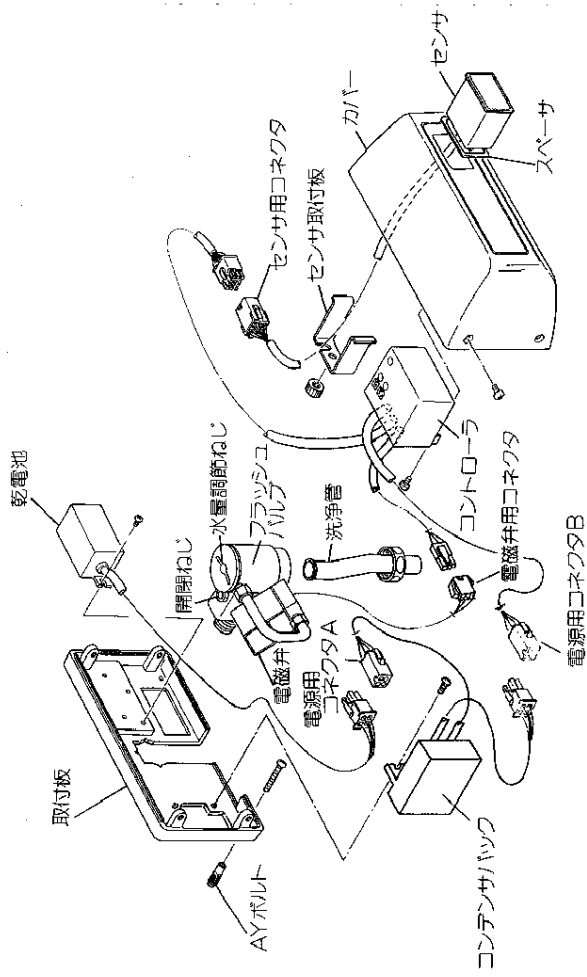
■作動のしくみ(このシステムは、衛生的かつ経済的に作動するよう設計されています)

<p>①感知</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 器具から60cm以内に接近するとセンサーが感知します。 * 通常使用中には感知表示ランプは点灯しません。 	<p>②本洗浄</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 使用後、小便器より離れた小便器を本洗浄します。 * 本洗浄タイムは1・3・5・7秒に設定できます。 (因タイムの設定の頂を参照ください。) ● ランプ点灯時は2秒遅れて本洗浄します。 	<p>③前洗浄</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 約5秒後、小便器を洗浄します。 (②注意) ● 前洗浄タイムは工場出荷時は0秒に設定してありますので、そのままでは前洗浄しません。必要に応じて設定してください。 (因タイムの設定の頂を参照ください。) ● 前洗浄タイムは0~7秒まで設定できます。 * ランプ点灯時は約6秒後に洗浄します。その際にランプは消灯します。 	<p>④設備保護タイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 長時間小便器を使用しないときは、24時間経過するごとに自動的に洗浄し、小便器、排水管の乾きを防ぎます。
---	--	--	---

■取付け前に

- 給水圧力範囲は最低必要水圧0.7kgf/cm²、最高水圧7.5kgf/cm²です。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水は上水道に接続してください。中水道および異物を多く含む水には使用できません。
- センサ面は傷つけないよう十分ご注意ください。
- 電気器具ですから、水をかけないよう注意してください。
- センサの照射角度および感知距離は次図のとおりです。なお、小便器の前に手すり等を設置する場合は、光電センサの感知領域内（安定感知領域内および不安定感知領域内）に障害物が入らないように設置してください。また、光電センサ正面の壁がステンレス等の反射しやすい場所への設置や、光電センサ同士（大便器自動洗浄システム用光電センサを含む）が対向するような設置は、誤動作を生じますので避けてください。

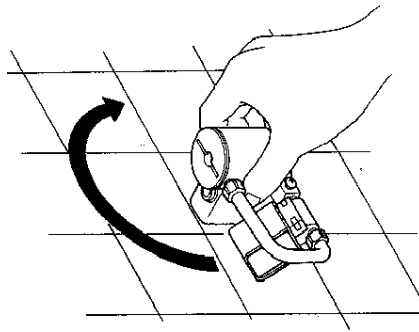
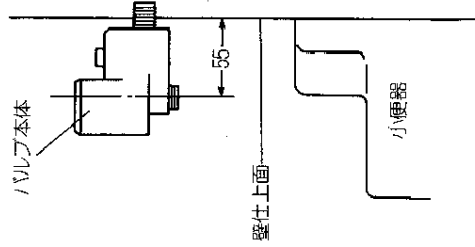
■各部の名称



感知距離700mm
(工場出荷時に設定)

1 ハルプ本体の取付け

- 給水管内のごみ・砂等を完全に洗い流した後、ハルプ本体を図のように給水管にねじ込みます。この際、電磁弁やパイプを傷つけないように注意してください。



2 取付板の取付け

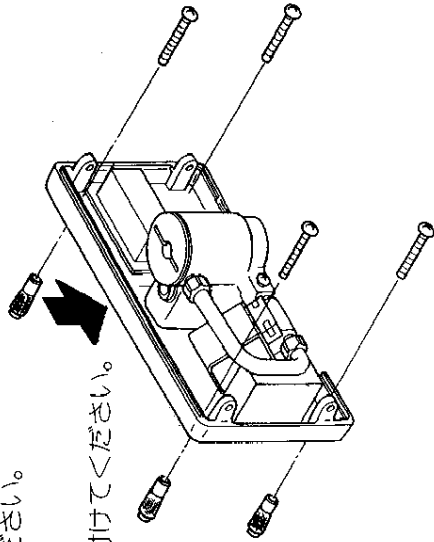
- 取付板を図のようにハルプ本体の上からスライドさせて取付けます。
- 取付板を壁にAYボルトで固定します。

AYボルトの下穴はφ7.5

ドリルをご使用ください。

ご注意

- 取付板は水平に取付けてください。

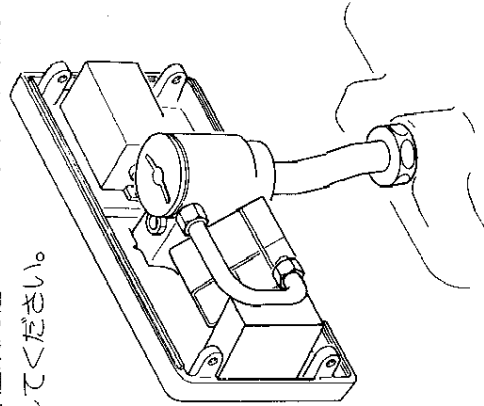


3 洗浄管の取付け

- 洗浄管を取付けて小便器と接続します。

ご注意

- 洗浄管は2種類同梱していますので、小便器に合わせて選択してください。



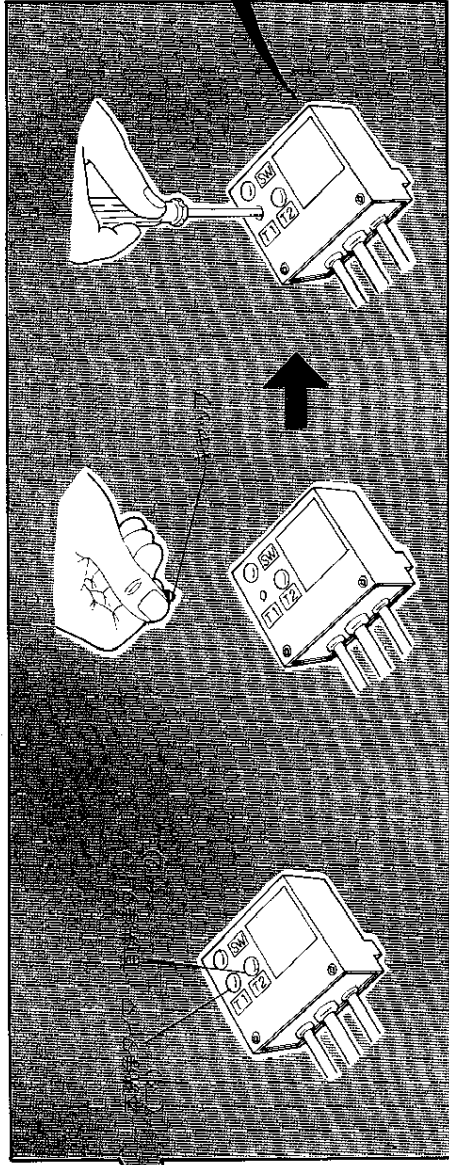
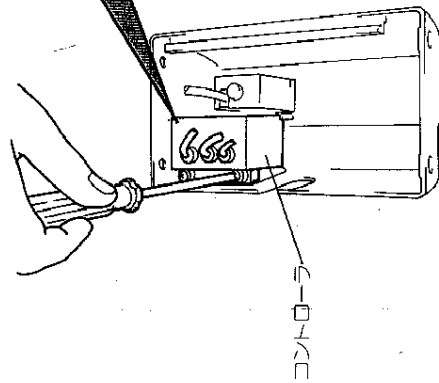
4 タイマの設定(タイマは、本洗浄タイマ(T1)を5秒、前洗浄タイマ(T2)を0秒に工場で設 定して出荷しております。必要に応じて、次の要領で設定してください。)

設定方法

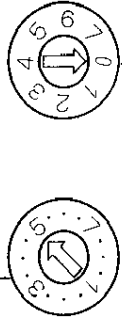
- ①カバーに取付けてあるコントローラを外します。 ③④ドライバでそれぞれの設定時間にタイマを調節します。
- ②タイマ調節ボリュームに取付けてあるキャップを外します。

ご注意

- タイマは静かに回し、無理な力を加えないでください。



本洗浄タイマ(T1)
(1・3・5・7秒に設定可能)



前洗浄タイマ(T2)
(0～7秒に設定可能)

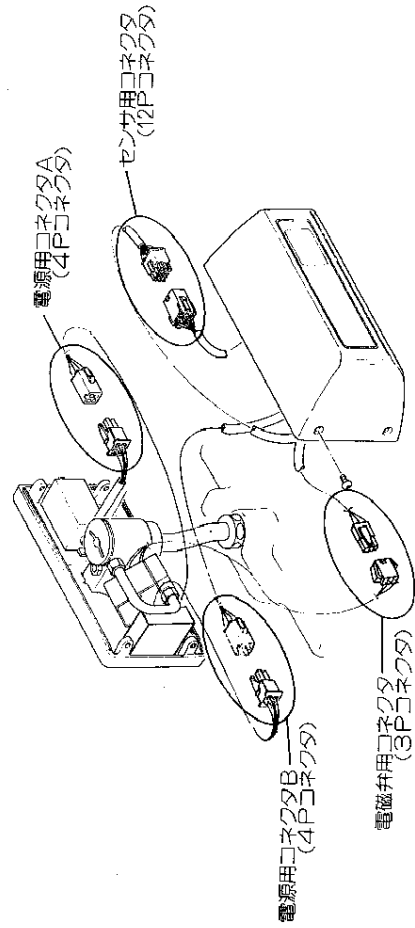
■タイマ調節ボリューム部詳細

5 コネクタの接続・カバーの取付け

- 各コネクタを接続し、カバーを図のようにビスで取付けます。(4カ所)

ご注意

- 接続後10分間は表示ランプが点灯します。
その後は人を感知しても表示ランプは点灯しません。

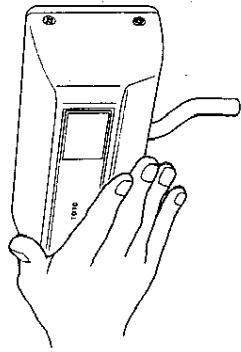


6 洗浄水量・水勢の調節

- センサの前を下図のように手で覆い、約10秒間以上経過後手を離すと、フラッシュユニットが作動します。最適な水勢で約10秒間洗浄するように、次の調節をしてください。

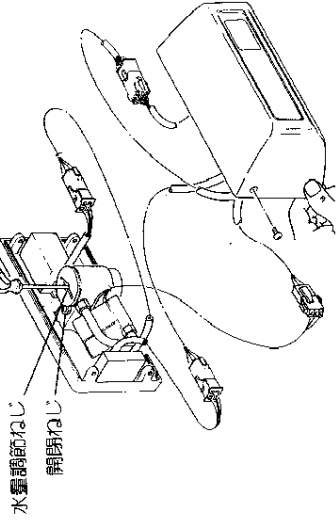
ご注意

- 調節の際はカバーを必ず片手で保持してください。



調節方法

- ① カバーを外します。
- ② 水勢が強いときは開閉ねじを右に、弱いときは左に回します。
- ③ 水量が多いときは水量調節ねじを右に、少ないときは左に回します。



7 感知距離の調節

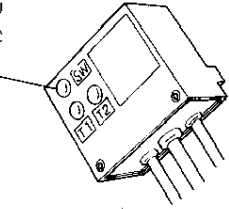
(感知距離は工場出荷で調節出荷しておりますので、通常は調節不要ですが、万一通常の使用状態で感知しなかったり、対向壁等を感知してしまうときは、次の要領で調節してください。)

調節方法

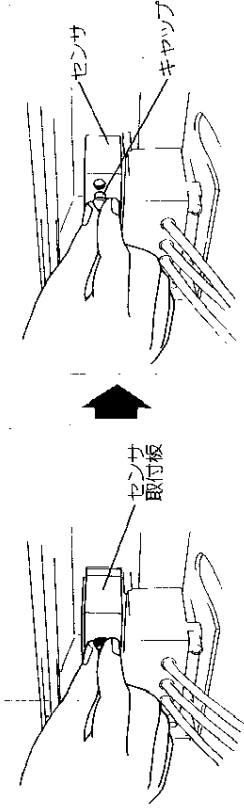
- コントローラのリセットスイッチを押してから調節してください。感知表示ランプが数分間だけ点灯します。

リセットスイッチ(SW)

(キャップを外し
ドライバ等で
リセットスイッチ
を押す。)



- 感知しない場合 (感知表示ランプが点灯しない) は、感知距離調節ポリュームを右に回す。
- 感知しつばなしの場合 (感知表示ランプが消灯しない) は、感知距離調節ポリュームを左に回す。



ご注意

- 感知距離調節ポリュームには、無理な力を加えないように少しずつ回して調節してください。
- 感知距離を必要以上に長くすると誤動作の原因になりますので、必要最少限度としてください。
- 調節の際は、カバーを必ず片手で保持してください。

